

を行った。空き家問題は、周辺の安全性の低下、公衆衛生の悪化等、市民生活に影響が及ぶ重要な課題であり、助言、指導などを行う。

## 自衛隊誘致について

**問** 先のシンポジウムを補完するための質問として、市長は現在の防衛計画の大綱をどう捉えているか。

**答** 現大綱では、南西地域の防衛体制の強化や海上、航空優勢の維持に向けた防衛力整備を優先し、幅広い後方支援基盤の確立に配慮しつつ機動展開能力の整備も重視することとされている。本地域は、これらの重視事項の根拠地としての最適な候補地であると考えており、防衛省に要望活動をしている。

## 防災関連について

**問** プレートの沈み込むベクトルの修正がされたとの報道があったが、南海トラフは修正されたのか。

**答** 気象庁は七月に津波予測

のデータベースを改善している。高知県周辺では日向灘付近の修正があったが、南海トラフ地震の想定には影響はないと聞いている。

**問** 防波堤のねばり化や県の実施している防潮堤の整備により津波の強度に変化が予想されるが、シミュレーションの見直しはあるのか。

**答** 津波シミュレーションの見直しを行うよう県と調整する。

## 庁舎の建て位置について

**問** 南海トラフ地震で想定されている内容に対応していかなければならないが、各候補地の震度六弱対策、L2津波対策、液状化対策、地盤沈下対策、長期浸水対策について問う。

**答** 震度六弱対策は共通であるが、L2津波、液状化、地盤沈下、長期浸水対策は小深浦高台以外の二か所では対応が困難と考える。

## 災害時の庁舎の機能について

**問** 情報の収集体制について問う。

**答** ドローンが有用であり消防所有のものを活用するほか、新庁舎にも配備したい。その他、県防災ヘリの画像や職員の見視情報、他機関からの派遣員の情報を活用する。

**問** 非常用電源、車両燃料等の確保について問う。

**答** 現状は整備できていない。新庁舎には、災害時に必要となる物を確保する。

## 国旗・国歌について

**問** 教育の現状を問う。

**答** 小中学校では学習指導要領により授業等で適切に指導している。児童・生徒が国際社会において尊重され、信頼される日本人として成長していくため、また日本人としての自覚を養い愛国心を育てるために大変重要と考える。

## 猛暑・熱中症対策について



川村 三千代 議員

**問** 災害級猛暑と言われた本年、熱中症での救急搬送件数、また、啓発、取り組みについて問う。

**答** 搬送については九月十一日時点、十九件、幸いにも生命の危険のある重症の方はいなかった。昨年の二十件に比べ特に増加はなかったが、熱中症に対する知識、対処法を身につけて頂くことは必要であり、広報で対策を掲載した。他にも熱中症の多くなる五月から九月ごろの期間を通し、公共施設でのポスターの掲示、乳幼児のいる保護者や各種健診受診者に予防対処法のリーフレットを配布し、また、自主グループ活動、健康相談、家庭訪問の場で保健師が指導、啓発を行っている。

**問** 七月には愛知県で男子児童が亡くなるという事故も発生した。教育現場での取り組み、クーラーの設置状況も含め対策を問う。

**答** 空調機の設置状況は、普通教室、パソコン教室、図書室等の特別教室を合わせ設置率、小学校で十四％、中学校で四十八％、また、日常の教育活動を主に行う普通教室は特別支援教室を含め、小学校六％、中学校百％となっている。県の運動部活動ガイドライン、気象庁、環境庁が発表する情報、指数に十分留意の上、課外授業等の実施を判断し現場と十分に連携を図りながら事故のないようにしっかりと対応していく。

## 参院選合区制度について

**問** 参院選の合区制度が解消されぬまま来年の選挙を迎えようとしている。地方の声が届きにくくなる、都市への一極集中も懸念されるこの制度の解消にこれまでどう取り組んできたのか、また、今後どう取り組むのか。

**答** 合区制度の導入により地方の民意が届かない、県を代